

C型肝炎の治療は 早めの対応が重要です



C型肝炎ウイルス（HCV）感染症は、放置しておくとも慢性肝炎から肝硬変に進展し、肝細胞がんができる大きな原因になります。

日本における肝細胞がんの主要因であるHCVの抗体陽性者は、特に昭和10年前後に生まれた人に、高い傾向が見られます。

そのC型慢性肝炎に対して、以前は、インターフェロン治療が行われていましたが、副作用や長い治療期間、治療成功の割合の低さなど問題が多々ありました。

近年、インターフェロンを使用しない飲み薬だけの新しい治療薬が普及し、劇的な治療効果を得ています。しかし、この治療は肝硬変まで進んでしまい、黄疸、腹水、静脈瘤などの症状がでてきた時には治療が困難となるため早めの対応が必要です。

C型肝炎は飲み薬だけで治すことが可能な時代になりました。過去に輸血を受けた経験のある方、昭和10年前後生まれで、肝機能異常のある方、健診でHCV抗体の陽性を指摘された方などは、かかりつけの先生やお近くの医療機関に相談してください。

当院の消化器内科でも、C型慢性肝炎や肝硬変の患者さんの治療を行っています。外来診察日は、月曜日と木曜日の午前中です。

まずは、医療機関に相談してください。

問市立病院消化器内科 ☎23-0611

認知症の方の 自動車運転について 考えてみましょう

認知症になると、さまざまな症状が現れることで、安全な運転をすることが難しくなり、重大な事故につながる可能性があります。しかし、運転の危険性が高いにもかかわらず、運転の中止に至っていない例は少なく、家族が対応に苦慮していることが調査により明

らかにされています。

そこで、認知症の解説や認知症の方が運転を中止しなければならなくなった時の対応などについて記載された「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者支援マニュアル」を国立長寿医療研究センターが作成しました。

国立長寿医療研究センター長寿政策科学研究部 よりダウンロードができます。また、市 にも掲載していますので活用ください。

問秩父地域包括支援センター
☎22-12582

消費生活センターからのお知らせ

保険金を使って 無償で住宅を 修理できる！ ほんと？



来訪した事業者が屋根を見上げ、「雨どいが下がってますね、雪害ですかね、火災保険で修理できますよ、申請できる期間もあと半年、お手伝いしますよ」と声をかけてきた。「見積もりを出し申請するだけで簡単、見積もりは無料ですけれどもどうですか」と言われ、無料でやってくれるならと依頼すると、「ついでに他の箇所も見ておきます」と言い、下から屋根を見上げ、瓦がずれている、ヒビが入っている、庇のところからそのうち雨漏りがするようになるなどと言い、修理費200万円と見積もった。火災保険の申請をすれば自己負担はない、申請はしてくれるというのを信じ、その日のうちに工事契約をした。

しかし、保険金は30万円しか下りず、残りは自己負担となった。工事は止めると申し出たが聞き入れてくれない。本当に工事が必要だったのか疑問。

「保険金で家の修理ができる」「申請の手伝いはする」「見積もりも無料」などといわれ、自己負担なく保険金で賄えると思い、家の修理契約をしたところ、対象外と見積もられた金額の保険金は下りず、予定外の出費になってしまった。また、下りた保険金で他社に工事依頼したら高額な違約金を請求されたというような相談が平成26年2月の豪雪被害発生後、寄せられています。その多くが雨どいをきっかけにして話を進めています。

消費者へのアドバイス

- ①事業者の説明をうのみにせず、本当に修理が必要か、加入している保険で賄えるのか事前に確認しましょう。経年劣化は保険の支払い対象にはなりません。
- ②突然の訪問で契約してしまった場合、契約日を含め8日間はクーリング・オフ（無条件契約解除）ができます。工事後でも可能です。
- ③勧誘されても不要と思ったら長話せずハッキリ断りましょう。訪問販売や電話勧誘が増える傾向にあります。事業者の説明は本当か、今すぐ必要かなど契約の前に家族や知人にも相談してみてください。

秩父市消費生活センター

☎25-15200

毎週月～金曜日（祝祭日はお休み）
午前9時～正午、午後1時～4時